



No. 33

〒666-0121
 兵庫県川西市平野1-39-1
 医療法人協和会 協立温泉病院
 広報・連携委員会
 TEL. 072-792-1301
 FAX. 072-792-2341
 URL: <http://www.kyowakai.com/>

協立温泉病院広報紙 2015年 12月 15日発行



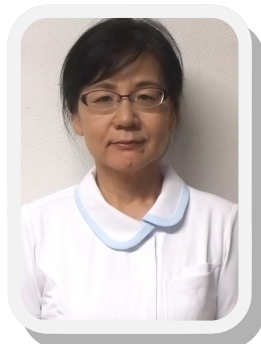
新入職の医師を紹介いたします！



例年にも増して暑かった2015年の夏、初めて川西能勢口の駅で降り、協立温泉病院へ見学に参りました。駅前から程なくして猪名川の自然に出会った時の感動は忘れられません。いろいろなご縁やタイミングが重なり、当院で働くことになり数か月が経ちました。職員同士のつながりや地域とのつながりが深い病院だと思えます。当院では難病であったり障害が残る病気があったり、必ずしも完治とは言えない疾患の方が多いのですが、皆様に安心していただけるような医療を提供したいと思っております。よろしくお願いたします。

医局 江口 香織

認知症看護認定看護師ってご存知ですか？ 当院でも認知症看護認定看護師が活躍しています。



私は看護師免許取得後、小児科で11年、成人の急性期外科・内科系に10年弱勤務しました。その後、入院患者の退院後の生活に興味を持ち介護老人保健施設に就職しました。施設で働く中で私は利用者に対して、何故この人は同じことを何度も話すのだろうか？何故何度も転倒するのだろうか？何故？と思うことの連続で、高齢者・認知症看護について学びたいと考えました。

そこで2010年度に兵庫県看護協会認知症看護認定看護師教育課程に入学し、2011年6月に認知症看護認定看護師の資格を取得し、協立温泉病院に就職しました。

現在は5階南病棟で勤務し他のスタッフとともに「その人らしさ」をもとめた認知症ケアを提供しています。

認知症看護認定看護師 若本 千加子



“痴呆”という呼称が差別用語にあたるとして“認知症”と呼ばれるようになったのは、今から約10年前の2004年のことです。

その頃より、所属していた病院でも認知症もしくは認知症のような症状がみられる方々が多くなってきたと記憶しています。大腿部の骨折で運ばれた方が、廊下を普通に歩かれていたことに大変驚きました。点滴を外し血液が付近に飛び散っている方、ベッドから降りようとして転ばれる方、昼夜問わず大きな声を出している方など様々な方がいました。入院により認知機能が低下し元の生活の場に戻れない方もいました。

人生の終末であろうその時期に、看護師として何もできず、その場しのぎの対応でよいのかと悩み、認知症の専門的な知識が必要と思うようになりました。

それと同時に、今後さらに高齢化が進み、認知症の方が増えてくると、いずれの診療科でも、また、在宅でも認知症の専門的な知識や技術が必要になると思い、勉強をすることにしました。

今後は、学んだ知識や技術を認知症に携わる方々に伝えながら、認知症看護の質が向上するように努めています。

認知症看護認定看護師 中西 留美

認知症看護認定看護師を取得するためには、沢山の勉強と実習が必要です。当院ではそのための実習も受け入れています。皆さん頑張って下さいね！



私は認知症看護認定看護師を目指して、7月より兵庫県看護協会の認定看護師教育課程で勉強させていただいています。10月5日より5週間、協立温泉病院の認知症病棟で実習させていただき、患者様からもスタッフの方からも多くの学びをさせていただきました。この学びを活かし、認知症という病気によって、生活しづらくなり、自分の思いを表現しにくくなっている認知症の「人」の視点に立ち、「その人」を理解しその人らしさを大切に看護ができるよう頑張りたいと思っています。

認知症看護認定看護師教育課程 彌榮香子



私は、認知症看護認定看護師を目指して勉強するために、広島県からきました。7ヶ月間神戸市内に住み、専門的な勉強をしています。10月5日から5週間、協立温泉病院で実習させて頂き、とても実のある学びをさせて頂きました。協立温泉病院のスタッフの方はとても明るく、実習中もとても暖かく協力をして頂きました。ここでの学びを活かし認知症の方がその人らしい人生を送ることが出来るよう、その人の思いに沿い、代弁者となれるよう頑張りたいと思います。

認知症看護認定看護師教育課程 伊東有美子

ご意見箱より

《ご意見》

日曜、祝日の出入り口からの車椅子での出入りが難しく、ドアストッパーとか考えて頂きたいです。

＜回答＞

ご意見ありがとうございます。
保安上、休日の正面玄関の開放は行っておりませんので、ご不便をおかけしております。ドアストッパーの設置などにより出入りを容易に行えるようにすると入院患者様の安全をお守りできないことが起きてしまうかもしれません。皆様の安全を担保するため、誠に申し訳ございませんが、ご理解ご協力をお願い申し上げます。尚、出入りの際に援助が必要な場合は、お手数ですが、詰所や1階事務所で声掛けください。

《ご意見》

義母が入院しております。
以前も入院していましたので長くなるのですが、大変よく見て下さって感謝しております。
いろいろな看護師さんが(担当の方はもちろんです)訪れる私達家族にも本人の様子を伝えて下さいます。本人は全くしゃべれず点滴なのですが、教えて下さるのでよく分かるし、大変うれしいです。
小さい事ですが、日々のことを少しでも伝えて下さるご姿勢に私達家族の方が励まされます。本当にありがたく感謝しております。

＜回答＞

スタッフへの温かいお言葉ありがとうございます。
私達は、患者・家族様への声掛けを大切にして、コミュニケーションを図るよう心掛けています。至らない点もたくさんあると思いますが、今後もより良い看護を提供できるように努めて参ります。

